

第七十四回帝國議會
衆議院

明治三十五年法律第四十九號中
改正法律案(國勢調査ニ關スル件)

委員會會議錄(速記)第五回

付託議案
明治三十五年法律第四十九號中改正法律案(國勢調査ニ關スル件)
(政府提出、貴族院送付)
恩給法中改正法律案(政府提出)

會議

昭和十四年三月十一日(土曜日)午後三時四十九分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 高橋 泰雄君

理事西田 郁平君 理事中野 治介君

齋藤 直橋君 中崎 俊秀君

丸山辨三郎君 一ノ瀬俊民君

山崎 常吉君 塚本 重藏君

出席政府委員左ノ如シ

內閣恩給局長 平木 弘君

法制局參事官 樋貝 詮三君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

恩給法中改正法律案(政府提出)

○高橋委員長 是ヨリ開會致シマス、前回

一應質疑ヲ打切ツタノデアリマスガ、尙ホ

御要求ガアリマスカラ、質疑ヲ續ケルコト

ニ致シマス

○齋藤委員 前會ヲ以テ質疑ヲ打切ラレタ

ノデアリマスケレドモ、本日吾々ノ手許ニ、

全國町村長會長ヨリ、恩給法ノ改正ニ關シ

テ、陳情ガ參ツタノデアリマス、町村長會

長ノ謂フ所ニ依ルト、多年改正ヲ政府ニ要

望シテ居リマシタケレドモ、未ダニ實現ニ至ラズ、是非此ノ際改正ヲ熱望スルト云フ意味ノ陳情デアリマス、其ノ陳情ノ要項ハ、

恩給法第十六條第一項第四號ニ依ツテ町村ノ負擔ニ係ル町村立、町村組合立中等學校教員退職一時金ヲ廢止致シマシテ、之ヲ國庫ヨリ支辨シテ戴キタイ、斯ウ云フコトニ

改正ヲ願フコト云フコトデアリマス、其ノ理由ハ簡單ニ申上ゲマスト、現行恩給法第十六條ニ依レバ町村立、組合立中等學校教員

ノ一時賜金ハ最終ニ之ニ俸給ヲ給シタル町村ノ負擔トスル規定デアリマスケレドモ、

町村立又ハ町村組合立中等學校教員ハ、必ズシモ初任ヨリ當該學校ニ在職セル者デハ

アリマセス、其ノ多クハ官公立ノ學校ヲ歴任致シマシテ、町村立或ハ町村組合立ノ學

校ニ赴任シテ來タリ、甚シキハ赴任後僅ニ數ヶ月ノ在任ヲ退職スル場合モ決シテ少ク

ナイノデアリマス、斯様ナ場合ニ當該町村ニ於テハ、本人既往ノ在職年數ヲ通算シテ、一時恩給ヲ支給スルガ如キコトハ、固

爲ニ町村ノ多クハ雇傭ノ際、豫メ恩給ノ辭退ヲ約束シテ、其ノ支給ノ義務ヲ免レンコトヲ圖ルヤウナ場合モアリマス、斯様ナ場

合ニハ後日忌ハシキ紛争ヲ見ルヤウナコトモアルノデアリマスカラ、ドウカ町村ノ負擔ヲ全廢致シマシテ、國庫ヨリ支給シテ戴

クコトニ改メテ戴キタイ、斯ウ云フノガ全國町村長會ノ陳情デアリマシテ、吾々委員

全部ニ此ノ陳情書ガ參ツタノデアリマス、吾々モ至極其ノ感ヲ同ジウシテ居ル者デア

リマスガ、此ノ際政府ノ所見ヲ伺ヒマスト共ニ、其ノ實現ヲ希望スル次第デアリマス

○樋貝政府委員 此ノ點ニ關シマシテハ、二ツノ事ガ含マレテ居ルヤウニ存ズルノデアリマス、一ツハ分擔ノ關係デアリマスガ、

學校職員ハ外ノ方カラ廻ツテ來テ、恩給年限ニ達シテ辭メレバ、中等學校デアリマス

ト國庫ガ之ヲ負擔スルコトニナツテ居リマスガ、一時金デアレバ俸給ノ出ル所カラ、

モウ一ツ一時恩給ヲ地方デ拂フトシテ、最後ニ辭メタ町村ナドガ全額ヲ負擔セズシテ、關係ノ所デ分擔スルト云フコト、其ノ

二ツノ問題ダト思ヒマス、一時恩給ヲ全部國デ負擔スルト云フコトハ、此ノ種教員ニ

關スルノミナラズ外ノ公務員一般ヲ通ジテ考ヘナケレバナラヌコトデアリマス、之ヲ

直チニ國庫カラ全部支拂ヒマセウト申上ゲルコトハ出來ナイノデゴザイマス、ト申シ

マスルノハ、元々此ノ一時恩給ト云フモノハ、長イ沿革ヲ持ツテ居リマシテ、明治二

十三年ニ恩給法ガ制定セラレマシタ當時ニ於キマシテハ、官吏ハ退官賜金ト云フモノ

ヲ貰ツテ居リマス、ソレカラ府縣立ノ學校ノ職員ナドハ、名前ハ正確ニ記憶シテ居リ

マセスガ、慥カ一時賜金ト云フノ貰ツタト思ヒマス、是ガ恩給法ノ外ニアリ、官吏ノ方ハ別ニ勅令ガ出デ居リマシタガ、共ニ

ニ恩給法ヲ統一致シマシタ時ニ、是等モ恩

給法ノ中ニ吸收致シマシタ、當時ノ改正ノ事情ハ、長クナリマスカラ申上ゲマセヌガ、當時色々ノ事情カラ之ヲ恩給法ノ中ニ吸收ハ致シマシタモノ、負擔ノ關係ハ從來通り持續スルコトニ致シマシテ、現在ノ恩給法ガ出來上ツテ居ルヤウナ譯デアリマスガ、之ヲ年金ノ恩給又ハ年金タル扶助料ナドト同ジヤウニ、國庫デ一樣ニ負擔スルト云フコトハ、國家ノ財政上カラ申シマシテモ一寸困難ナ事情ガアルシ、今申シマシタヤウナ性質論カラ申シマシテモ、餘程ノ疑義ガアリマスルノデ、直ニサウ云フコトニモ致シ兼ねル事情ニアリマス

ソレカラ一時金ノ方ヲ地方々々デ負擔スル場合ニ於キマシテ、其ノ負擔者ガ全部ヲ、終局的ニ負擔セズニ、關係ノ所デ分擔シタラドウカト云フ問題デアリマスガ、之ニ付キマシテハ恩給法ノ第十七條ニ所謂分擔ト云フコトヲ定メテ居リマス、是ハ年金ニ付キマシテモ、一時金ニ付キマシテモ爲シ得ルヤウニ法律ノ方デハ規定シテアリマス、サウシテドンナモノヲドンナ風ニ分擔スルカト云フコトニ付キマシテハ、是ハ勅令ニ讓ツテ居リマス、其ノ規定ヲ承ケマシテ恩給法施行令第四條第一項ニ於キマシテ國庫ノ方カラ分擔シテ行クベキモノヲ決メ、ソ

レカラ末項ニ於キマシテ其ノ規定ヲ逆ニ、國家或ハ地方ノ自治體同志ノ分擔請求ノ場合ニ付テ準用スルコトニ致シマシテ、相互間ニ於テモ分擔ノコトヲ決メテ居ルノデアリマス、只今御尋ノ點ハ二三年前マデハ、一時恩給ノ分擔ヲ致シマセヌデ、唯年金ダケニ付テノ分擔ヲ致シテ居リマシタノデ、其ノ時分ニ於テハ今其處ニ述ベラレテ居ルヤウナ現象ガ起リマシタ、初ハ分擔ニ付キマシテモ先ヅ試ミニヤル、試ミト申シマシテモドノ程度、ドウ云フ方法デ分擔ガ出來ルカト云フコトニ馴レテ居リマセヌデシタモノデスカラ、先ヅ年金ニ付テ試ミテ居ツタノデスガ、ソレニ完熟致シマシタ所デ、今度ハ一時金ニモ之ヲ及ボシマシテ、此ノ兩三年一時金ノ分擔ヲモ始メテ居ルヤウナ譯デ、國家ノ方カラモ又國家ニ對シマシテモ分擔ノ相互的請求ヲ、今日致シテ居ル譯デアリマス、自治體同士ニ於キマシテノ分擔請求モ、只今申上ゲマシタヤウナ規定デ、丁度國家トノ間ニ、他ノ方ハ分擔ヲ請求シ得ルヤウナ關係デ、分擔ガ出來ルヤウナコトニナツテ居リマス、今ノ町村長會議ノ困ルト言ハレテ居ル所ハ、大體賄ヒ付イテ居ルヤウニ考ヘテ居ル譯ナノデアリマス、恐ラクハ其ノ點ハ少シ前ノ時ノ規定ヲ、其ノ

儘ト考ヘラレテ居ルノデハナイカ知ラント存ジテ居リマスガ、ソレ以上想像致シマシテモ、尙ホ其ノ外ニサウ云フ風ナ、更ニ進ンデノ問題ガアルノカモ存ジマセヌガ、ドウモサウ云フコトハ想像出來マセヌノデ、恐ラク今ノ規定ガ存在スルコトニ付テ、認識ガ及ンデ居ラナイ結果デヤナイカトモ考ヘラレマス、デスカラ今ノ規定ガアル結果ハ、具體的ニ申上ゲレバ、斯ウ云フコトニナリマス、府縣ニ勤メテ居ル人ガ町村立ノ學校ノ方ニ轉任シテ參ル、其處デ年金ノ恩給ニナラヌ中ニ辭メテ、一時恩給ヲ貰フト云フヤウナ場合ニ、町村ノ方ヘ參リマシタ勤務ノ年數ト、ソレカラ府縣ノ方ニ居ツタ年數トノソレニ比例致シマシテ、且又俸給ニ比例シマシテ、府縣ニ居ツタ當時ノ俸給ト、ソレカラ町村ニ參ツタ所ノ俸給ト、其ノ兩方ニ比例シテ、分擔スルト云フコトニナツテ居リマス、細カイ所ハ、例ヘバ一年足ラヌノハドウスルトカ、端下ノ場合ハドウ云フ風ニスルト云フヤウナ、細カイコトハアリマスケレドモ、大體申上ゲレバ斯ウ云フコトニナリマス、一時恩給ハ兎ニ角今ノ例カラスルト、町村ノ方デ先ヅ一應支拂フコトニナリマス、支拂フケレドモ、府縣ノ方ニ分擔ヲ請求スルコトガ出來ルト云フ

コトニナリマス、大體其ノ時期デ利息ヲ損スルト云フヤウナコトハアルカモ知レマセヌケレドモ、サウ云フヤウナ點ハ大シタ問題デモアリマセヌシ、大體サウ云フヤウナコトデ、今私ノ想像シテ居ル所デハ、別ニ大シタ大キナ不公平ノヤウナコトハナイ積リデ居リマス

○中野委員 一應質疑ガ打切ニナリマシタ後ニ、只今御話ノ案件ト、他ニ東京市瀧野川區在住ノ有志ヨリ歎願シテ出ラレタ案件ガゴザイマス、今回御提案ニナリマシタ案ハ、現狀ノ事情カラ致シマシテ、御急ギニナルヤウナ次第デアリマスルカラ、此ノ歎願ノ趣旨ヲ入レテ、改正ニ織込ムカドウカト云フヤウナコトヲ考ヘルコトハ、ドウダカト考ヘマスノデ、歎願ノ趣旨ニ基キマシテ御當局ノ御意見ヲ御聽キスルコトニ止メタイト思フノデアリマス、歎願ノ要領ハ軍入ニアラザル——是ハ軍屬ニ入リマスルカ能ク分リマセヌガ、歎願ハ具體的ニナツテ居リマシテ、事例ハ、陸軍ノ通譯トシテ、嘗ツテ勤務シタノデアアル、ソレガ其ノ職務ノ爲ニ失明ヲシタノデアリマスルガ、ソレ等ニ對シテ法ニ依ル恩賞ハナイノデアアルカラ、恩給法改正ノ時機ニハ、何トカ處置シテ戴キタイト云フノデアリマス、ソレハ大

正十二年ノ十月一日恩給法施行前ノ出來事
デゴザイマシテ、自然恩給法ノ恩典ニ浴ス
ルコトガ出來ナイノデアリマス、其ノ後サ
ウシタ事例ノモノハ、恩給法ニ依ツテ恩典
ニ浴シ、其ノ以前ノモノハ事柄ハ同ジデア
ルガ、其ノ恩典ニ浴スルコトガ出來ナイ、
是ハ洵ニ同情ニ堪エナイ、斯ウ云フノデア
リマス、之ニ對シマシテ軍當局ハ、昭和七
年ノ六月十八日付ヲ以テ、其ノ案件ニ對シ
マシテ回答サレテ居ルノデアリマス、
其ノ回答ノ要領ハ、其ノ歎願シテ出マシタ
人ニ對シテハ、洵ニ同情ニ堪エナイ、衷心
御同情申上ゲルノダガ、現今ノ恩給法下ニ
アリマシテハ、何トモスルコトガ出來ナイ
ノデアルカラ、今度恩給法改正ノ時機ニ、
然ルベク考慮スルト云フコトデアアルノデア
リマス、是ハ官憲ノ御同情アル回答デアリ
マスルカラ、國民ト致シマシテハ、絶對信
賴ヲ置イテ居ツタガラウ、又置クノガ至當
デアリマス、是等ハ陸軍當局ニ於カレ
マシテモ、其ノ言責ヲ重ンゼラレテ、相當考
慮セラレタカト存ジマス、其ノ點ハド
ウ云フコトニナツテ居リマセウカ、軍部ノ
方ガオ居デニナラスヤウデアリマシテ、御
出席ノ政府委員ノ方デ、御答辯出來マスナ
ラバ御示シヲ願ヒタイト思ヒマス

○糧食政府委員 陸軍ノ回答ノ趣旨ハ、私
ハドウ云フ意味ヲ持ツテ居リマス、付テ
申上ゲ兼ネル次第デアリマス、陸軍ノ通
譯デ軍ニ從ツテ居ツタヤウナ者ハ、是ハ過
去ノ戰役ニ於キマシテモ澤山アリマシタ
ガ、是ハ色々ナ内容ヲ持ツテ居リマシテ、
專門ニ從軍シテ居ルヤウナ者モアレバ、出
先ニ居ツテ外ノ仕事ヲシテ居ツテ、臨時ニ頼
マレテ通譯スルト云フ程度ノ者モアリマス、
ソレモ義勇的ニ出テ行ク者モアリマス、
多少職業ト云フヤウナ色彩ヲ以テ、之ヲヤ
ツテ居ル者モアリマス、種々雜多デアリマ
ス、明治三十七年、御承知ノ日露戰役ノ時、
又前ノ二十八年ノ日清戰役ノ時モアリマシ
タノデスガ、其ノ時ニ通譯ノ者ニ對シマシ
テ、判任官以上ノ待遇ヲ總テニデアリマセ
スガ御與ヘニナルト云フノデ、其ノ待遇ヲ
與ヘラレタ者モアリマス、當時ノ法律ニ於
キマシテハ、無論斯ウ云フ者ハ其ノ本體ガ
軍人デナイシ、又他ノ官吏デモナイト云フ
譯デ、恩給ニナツテ居リマセヌデシタノガ、
只今御舉ゲニナリマシタヤウニ、大正十二
年ノ恩給法制定ノ時ニ、恩給法第二十四條
デ、或ル種ノ待遇職員ニハ——待遇職員ト
申シマスノハ判任官以上ノ官吏ノ待遇ヲ
受ケル職員デ、本來ノ身分カラ言ヘバ官吏

デナイ者デアリマスガ、待遇職員ニハ勅令
デ特ニ列舉シタ場合ニハ、恩給ヲヤルト云
フヤウナコトニナリマシテ、其ノ規定ヲ承
ケタ勅令即チ恩給法施行令ト申シテ居リマ
スガ、其ノ第十一條ニ「陸軍ノ通譯ニシテ判
任官以上ノ待遇ヲ受ケルモノ」ト云フ一項ガ
加ハリマシテ、其ノ勅令デ指定サレタ以後
ノ判任官以上ノ待遇ヲ受ケル專門ノ通譯ダ
ケニ、將來ニ向ツテ恩給ヲ給セラレルヤウ
ニナツタ譯デアリマス、隨テソレ以前ノ分
ハ拔ケテ居ルト云フコトニナル譯デアリマ
ス、此ノ種ノ者ハ他ニモ相當デアリマスガ、
問題ハ或ル法ヲ制定シテ、恩給性ヲ認メタ
時ノ前ニ遡ツテ、マダ恩給性ヲ認メナイ時
代ノ者ニ、尙ホ恩給ヲヤルベキカドウカ、法
律解釋論トシテハ、無論ヤルベキモノデナ
イコトハ疑ヒナイノデアリマスガ、立法論
トシテ、サウ云フ者ニマデ其ノ效果ヲ及ボ
スベキカドウカト云フ問題ニナリマスガ、
是ハ相當廣イ範圍ニ影響スル問題デアリマ
シテ、待遇ヲ與ヘラレテ居ル者又與ヘラレ
テナイ者、色々アリマス、朝鮮ニ於テモ同
ジヤウナ職員ナドガアリ、又臺灣デハ元々
官吏デアツタノヲ、日本ノ官吏ニ出來ナイ
カラト云フ譯デ、雇員ト云フ資格ニ全部改
變シタト云フヤウナ事ナドモアリ、又内地

ノ機關ニ於キマシテモ、諸種ノ職員ガアリ
マシテ、今日此處ニ見エテ居リマス議院ノ
速記者ナドニ付キマシテモ、サウ云フヤウ
ナ事例ガアツタノデアリマスガ、サウ云フ
ヤウナ場合ニ在職年數ヲ通算ハシテヤルケ
レドモ、獨立ニハ恩給ヲヤラナイト云フヤ
ウナノガ遡及致シマシタノデハ、多クノ例
ガアルノデアリマスガ、獨立ノ過去ノ無資
格時代ノ者ダケデ、恩給ヲヤルト云フ風ニ
立法シタ例ハ殆ドアリマセヌ、殆ドト申シ
マスノハ、極ク少數サウ云フ場合ヲ生ジマ
シタノガ、北海道ノ屯田兵ナドニ、結果ニ
於テ少數デアリマシタ、サウ云フヤウナ譯デ、
ソレヲ目的トシテ立法シタノデナシニ、或
ル規定ヲ爲シタ結果トシテ、サウ云フヤウ
ナモノガ起ツテ來タト云フヤウナ程度デア
リマス、サウ云フ者ヲ目指シテ遡及スルト
云フコトニナルト、是ハ今マデ殘サレテ居
ツタ古イ所ヲ掘返シ——スルト云フコトニ
ナリマス、恩給制度トシテ國家ガソコ
マデ行ツタノデハ、負擔ニ堪ヘナイノデハ
ナイカト云フコトヲ恐レル譯デアリマス、
サウ云フヤウナ事情デ、陸軍通譯ニ關シマシ
テモ、過去ノ恩給性ヲ認メラレナイ時代ノ
分ニ付キマシテハ、之ヲ打切ツテ居ルヤウ
ナ次第デアリマス、又只今申シマシタ勅令

デ色々擧ゲラレテ居リマス其ノ待遇職員ハ、
ドノ職員ニ於キマシテモ、非常ニ嚴格ニ、
特ニ勅令デ擧ゲタ其ノ日カラデナケレバ、
恩給性ヲ認メヌ、在職業數ヲ計算シナイト
云フ風ニマデ、嚴格ニ致シテ居ルヤウナ譯
デアリマス、況ヤ其ノ種類ノ者デナイ、ソ
レヨリ前ノ、關係ノ切レタ前ノ制度ノ者ニ、
同ジヤウニ恩給ヲ認メルト云フヤウナコト
ハ致シテ居リマセヌヤウナ譯デアリマス、
大キナ恩給法ノ建前ト致シマシテ、ドウモ
只今ノ御話ノヤウナ者ヲ採リマシテ、サウ
シテ恩給ヲ認メルト云フコトハ、只今相當
ト考ヘテ居ラナイヤウナ譯デアリマス、ソ
ナ事情ニナツテ居リマスカラ、御諒承願
ヒマス

○中野委員 先程申述べマシタヤウニ、本
案件自體ハ、急速ヲ要スルヤウデアリマス
カラ、重ネテ論議致シマスコトヲ省略致シ、
唯御願ヒテ致シマシテ、私ノ質問ヲ終リタ
イノデアリマス、同ジ仕事ノ上ニ於キマシ
テ、軍人ト異ナラナイ境遇ニ於テ、同
ジ國家ニ對スル忠誠ヲ盡シテ、サウシ
テ同ジヤウナ傷痕ヲ受ケタ軍屬ト見ラ
レルヤウナ人ノ、殊ニ斯様ナ不遇ナ者ニ
對スル恩賞デアリマスカラ、陸軍省ニ是
ハ御願スルノデアリマスガ、陸軍省トシテ、

斯様ナ責任ノアル書面ニ依ル返事ガ出テ
ノ居ルノデアリマスカラ、唯一片ノ辭令ノ
文書ト違ヒマスノデ、此ノ返事ニ對シマシ
テモ、責任ノアル御處置ニ付テ御研究ヲ煩
シタイト思フノデアリマス、サウシテ御研
究ノ結果、萬已ムラ得ザル事情ガアリマシ
テ、直接其ノ願意ガ容レラレヌト致シマス
レバ、是ハ致シ方アリマセヌガ、大世帯ノ
陸軍省ノコトデアリマスカラ、他ノ方法ニ
依ル處置ガ採レハシナイカトモ考ヘラレル
ノデアリマス、今日ノ國家ノ隆昌ハ、今日
ノ忠誠バカリデゴザイマセヌ、ヤハリ昨日
ノ斯ウシタ忠誠ノ延長ト致シマシテ、今日
アル所以デゴザイマスカラ、更ニ陸軍省ト
致シマシテハ、斯ウシタ法ノ缺陷ニ依ルト
モ見ラレルヤウナ同情スベキ者ニ對シマシ
テハ、更ニ再檢討ヲ下サイマシテ、出來ル
ダケ御同情ノアル處置ヲ賜ハランコトヲ御
願致シマシテ、私ノ質問ヲ終リマス

○塚本委員 私モ一ツ補足質問ヲ許シテ戴
キタイノデアリマス、昨日同僚ノ大石議員
カラモ、此ノ事例ヲ聽イタノデアリマスガ、
私モ一ツ其ノ事例ヲ知ツテ居リマシテ、
洵ニ同情スベキ境遇ニ在ル者ガアルノデア
リマス、其ノ一ツノ例ヲ申上ゲマスト今次
事變ニ於キマシテ、二十四歳ニナリマスル

戸主ガ召サレマシテ出征致シマシタ、サウ
シテ此ノ出征兵士ハ戰ノ後遂ニ戰死ヲ致シ
タノデアリマシタガ、其ノ家庭ニハ母親ト
六人ノ弟妹ガアツタノデゴザイマス、所ガ
其ノ一人ノ母親ガ間モナク又病死ヲ致シマ
シテ、後ニハ十八歳ヲ頭ニ致シマシテ、六
人ノ弟妹ガ遺サレテ居ルノデアリマシテ
之ニ對スル養ヒ人ト云フ者ガナクテ、地方
ノ人々ガ轉々同情禁ズル能ハズシテ、色々
ノ手段ヲ廻ラシツツアルノデアリマスケレ
ドモ、其ノ處置ニ當惑致シテ居ルヤウナ實
情ガアリマス、勿論此ノ事例ニ對シマシテ
ハ、現行恩給法ハ其ノ手ヲ差伸ベルコトガ
出來ナイノデアリマスシ、又軍事扶助法ニ
依リマシテモ、之ニ溫イ手ヲ伸ベル道ガ開
カレテ居ラナイノデアリマス、唯殘サレテ
居リマスル問題ハ、恩賜財團ノ援護會デア
ルトカ、或ハ地方ニ組織セラレタ銃後奉公
會デアルトカ——勿論其ノ地方ニハマダ銃
後奉公會ノ組織ハナイヤウデアリマス、サ
ウ云フ郷土的ノ組織ニ俟タナケレバナラナ
イヤウナ事情ニ置カレテ居リマス、是ハ現
行ノ恩給法ナリ、軍事扶助法ノ適用ハ受ケ
ルコトハ出來マセヌガ、實際ノ事情ト致シ
マシテハ見ルニ忍ビナイ、轉々同情ニ堪ヘ
ナイ事情ニ置カレテ居ルノデアリマス、何

トカ今事變ニ武勳ヲ立テテ戰死ヲ致シマシ
タ家族デアツテ、而モ糊口ニ窮シテ居ルト
云フヤウナ窮狀ニ置カレテ居ルノデアリマ
ス、勿論恩給法ヲ改正致シマシテ、廣ク是
等戰死ノ兄弟ニマデ及ボスト云フコトハ、
全ク不可能ナコトト思ヒマスガ、今申上ゲ
マスルヤウナ事例ニ對シマシテハ、即チ其ノ
遺サレタル兄弟ニ對シテモ、養ヒ人ガナイ
ト云フヤウナ特殊ナ事例ニ對シマシテハ、
何等カノ特例ヲ設ケマシテ、之ヲ救フノ途
ヲ講ジナケレバナラヌノデハナイカ、國家
トシテ當然責任ノアル任務デハナイカト考
ヘラレルノデアリマス、遺憾ナガラ今日ハ
法ノ上デハドウモスルコトガ出來ナイノデ
アリマスガ、謂ハバ是ハ法ノ不備ト申シマ
セウカ、唯一言以テ兄弟ニマデ及ボスコト
ハ出來ナイカラ困ルト言フノデハナク、全
部ノ兄弟ニ及ボスコトハ勿論出來ナイノデ
アルトシテモ、今申上ゲマスルヤウナ特殊ノ
事例ニ對シマシテハ、特殊ナ何等カノ方途ヲ
講ジナケレバナラナイト考ヘルノデアリマ
ス、ソコデ政府ニ於キマシテハ、斯ウ云フ事
例ニ對シテ、何カ過去ニ御考ニナリマシタ
コトガアリマセウカ、又今後サウ云フ事例
ニ對シテ、何等カノ處置ヲ講ジョウト御考
慮下サルカドウカ、又現在ト致シマシテハ、

最善ノ途ハドウスレバ是等ノ人ガ救ハレル
ノデアリマセウカ、今後私共ノ執ルベキ處
置ニ付テモ、參考トシテ承リタイト思フノ
デアリマス、唯願ヘマスルナレバ、恩給法
ノ中ニ特例ヲ設ケテ、是等ノ人々ニ溫イ手
ヲ差伸ベルヤウニシテ戴キタイト思ヒマス
ルガ、今差當ツテ恩給法ノ改正ガ不可能デ
アルトシマスルナラバ、何等カ茲ニ便宜ナ
方法ヲ設ケラレル必要ガアルノジヤナイカ
ト思ハレマスノデ御伺致シマス

ヲ看取ル者モナイ、扶養者モナイト云フヤ
ウナ場合ダケニ限リマシテ、サウ云フ人數
ガ幾人カアレバ其ノ幾人カニ對シテ、大體
恩給ノ一年分位ハ、一人宛ヤルト言ツタヤ
ウナ程度ノ途方講ジラレテ居ルダケデアリ
マス、ソレ以上ノコトハ何モ出來ナイト云
フコトニナルノデアリマスカラ、只今御舉
ゲニナツタヤウナ例デモ、例ヘバ其ノ軍人
ガ死ニマシテ、弟妹ガアリマシテモ、他ニ
扶助料ヲ誰カ既ニ父ナリ母ナリガ、假令短
カクテモ得レバ、法律ノ上デハ只今ノ給付
ヲヤルヤウナコトハ出來ナイコトニナル譯
デアリマス、兄弟姉妹ニ恩給ヲヤルト云フ
所マデ行キマス、是ハ廣過ギテ困ルト思
ヒマス、今御舉ゲニナツタ事例トスルト、
何トカシテヤリタイト考ヘルノガ自然ノ情
デモアリマスシ、恩給ノ方ト致シマシテモ、
サウ云フ場合ニ救ノ手ヲ假令僅カデモ伸ベ
ルト云フコトモ、十分ニ考ヘラレ得ル譯デ
アリマス、何分ニモ恩給デハ多數ノ場合ヲ
取扱フ必要上、抽象的ニ諸種ノ規定ヲ致シ
マスノデ、個々別々ニ痒イ所ニ手ガ届クヤ
ウナヤリ方ガ出來マセヌノガ遺憾デアリマ
ス、ソコデ例ヘバ恩給局長ノ手許ニ、年額
ニシテ澤山モ要リマセヌガ、五十万圓ナリ
ノ資金ガ、假ニ恩給全體ノ中カラ許サレル

モノガアリトスルナラバ、ソレデ法ノ認メ
テ居ル所ヲ或ハ超エテ、特別ノ内規ヲ置キ
マシテ、サウ云フ特別ノ事情アル者ニダケ
給與スルトカ云フヤウナ途モアリ得ルト
思フノデアリマス、先年モ其ノ點ニ付キマ
シテハ、實ハ考慮モ致シタコトモアルノデ
スガ、恩給法ガ成立スルマデノ過程ニ於キマ
シテ、其ノ方法ハ認メラセヌデシタノ
デ、現在ノ恩給法ニハサウ云フコトガ現ハ
レテ居リマセヌ、是モ見方ニ依リマシテハ、
恩給裁定官廳ガ專斷ヲヤリハシナイカト云
フヤウナコトモ考ヘラレマスノデ、其ノ方
ノ懸念カラ之ヲ認メルコトガ出來ヌト云フ
ノモ、一ツノ理窟ハアルト思ヒマス、ダガ
非常ニ公平ニ非常ニ能クモノヲ見透シテ、ソ
レヲ運用シテ參レバ弊害モナク、而モサウ云
フヤウナ場合ヲ救ヒ得ルト云フヤウナコト
ニナルトハ存ジマスガ、遺憾ナガラ今直ニ
サウ云フヤウナ方法ヲ、實現シ得ルダラウ
ト云フ風ナ見透シモ付キマセヌ、ソコデ只
今アル方法ヲズツト通觀致シマシテ、何ガ
考ヘラレルカト云フコトデスガ、社會的ニ
色々ナ救ヒノ手ヲ以テ行クト云フコトハ、
當然考ヘラレルコトデアリマスガ、制度的
ニ何カ救ヒノ手ヲト云フコトヲ考ヘマシ
テ、アレヤ是ヤト現在存在シテ居ル制度ニ

付テ考ヘテ見マシテ、ドウモ遺憾ナガラ是
ナラバト思フヤウナ適切ナモノガ考ヘラレ
マセヌ、尙ホサウ云フヤウナ銃後ノ救済ニ
付テハ、厚生省方面ナドデモ相當心配モ致
シテ居ルヤウナ譯デアリマスカラ、今ノヤ
ウナ事例ニ對シマシテ、尙ホ厚生省ナドノ
方面ノ發動ヲ——是ハ十分ニ出來ルカドウ
カハ存ジマセヌケレドモ、若シ出來ルナラ
バサウ云フヤウナ發動ヲシテ貰フヤウニ私
等ノ方カラモ申傳ヘルコトニ致シタイト考
ヘテ居リマス、ソシテヤウナ譯デ甚ダ心許
ナイ答辯デゴザイマスケレドモ、現状トシ
テハ其ノ程度以上ニ申上ゲラレナイコト
ヲ、御諒承願ヒタイト思ヒマス

○塚本委員 斯ウ云フ事例ニ對シテモ既ニ
過去ニ於テ當局デハ御氣付ノ上、何等カノ處
置ヲ講ジョウト試ミラレ、腹案ヲ立テラレ
タコトアルヲ聞キマシタガ、唯其ノ事ガ實
現シテ居ラナイノヲ、甚ダ遺憾ト致シマス、
恩給法ノ改正ヲ俟タナケレバソレヲスルコ
トガ出來ナイノナラバ、今御答辯ノヤウナ
コトガ、此ノ際現實ノ問題トシテ起ツテ居
ルノデアリマスカラ、之ヲ何等カノ方法デ
實現スルヤウニ御助力ヲ願ヒ、現實社會ニ
サウ云フ人々ノアルコトヲ十分ニ御認識賜
リマシテ、之ニ溫キ救ヒト云フヨリ、寧ロ

○總員政府委員 只今ノ御尋ノ點洵ニ御尤
デアリマス、一々私等ガ過去ニ於キマシテ
色々考慮ヲ廻ラシマシタコトニ打當ツテ居
リマスノデ、吾々ガ過去ニ考ヘタコトガ、
其ノ當時事實トシテハ起ツテ來ナカツタコ
トデアリマスケレドモ、無駄デナカツタ
ト云フコトヲ考ヘマス同時ニ、又ソレニ
對シテ事實上色々困難ガアル、隨デヤリ得
ナカツタト云フコトヲ思合ハス譯デアリマ
ス、只今御舉ゲニナリマシタノハ、軍人ノ
弟妹デアリマスガ、現在ノ法律デハ、御話
ノ通りドウモヤル途ガナイノデアリマス、
兄弟姉妹ニ對シテ恩給ヲ與ヘル唯一ノ場合
ト申シマスルノハ、公務員ガ死ニマシテ、
他ニ扶助料ヲ貰フ者ガナク、兄弟姉妹ガ何
カ不具又ハ癡疾デアルヤウナ者デアリ、之

ヲ看取ル者モナイ、扶養者モナイト云フヤ
ウナ場合ダケニ限リマシテ、サウ云フ人數
ガ幾人カアレバ其ノ幾人カニ對シテ、大體
恩給ノ一年分位ハ、一人宛ヤルト言ツタヤ
ウナ程度ノ途方講ジラレテ居ルダケデアリ
マス、ソレ以上ノコトハ何モ出來ナイト云
フコトニナルノデアリマスカラ、只今御舉
ゲニナツタヤウナ例デモ、例ヘバ其ノ軍人
ガ死ニマシテ、弟妹ガアリマシテモ、他ニ
扶助料ヲ誰カ既ニ父ナリ母ナリガ、假令短
カクテモ得レバ、法律ノ上デハ只今ノ給付
ヲヤルヤウナコトハ出來ナイコトニナル譯
デアリマス、兄弟姉妹ニ恩給ヲヤルト云フ
所マデ行キマス、是ハ廣過ギテ困ルト思
ヒマス、今御舉ゲニナツタ事例トスルト、
何トカシテヤリタイト考ヘルノガ自然ノ情
デモアリマスシ、恩給ノ方ト致シマシテモ、
サウ云フ場合ニ救ノ手ヲ假令僅カデモ伸ベ
ルト云フコトモ、十分ニ考ヘラレ得ル譯デ
アリマス、何分ニモ恩給デハ多數ノ場合ヲ
取扱フ必要上、抽象的ニ諸種ノ規定ヲ致シ
マスノデ、個々別々ニ痒イ所ニ手ガ届クヤ
ウナヤリ方ガ出來マセヌノガ遺憾デアリマ
ス、ソコデ例ヘバ恩給局長ノ手許ニ、年額
ニシテ澤山モ要リマセヌガ、五十万圓ナリ
ノ資金ガ、假ニ恩給全體ノ中カラ許サレル

モノガアリトスルナラバ、ソレデ法ノ認メ
テ居ル所ヲ或ハ超エテ、特別ノ内規ヲ置キ
マシテ、サウ云フ特別ノ事情アル者ニダケ
給與スルトカ云フヤウナ途モアリ得ルト
思フノデアリマス、先年モ其ノ點ニ付キマ
シテハ、實ハ考慮モ致シタコトモアルノデ
スガ、恩給法ガ成立スルマデノ過程ニ於キマ
シテ、其ノ方法ハ認メラセヌデシタノ
デ、現在ノ恩給法ニハサウ云フコトガ現ハ
レテ居リマセヌ、是モ見方ニ依リマシテハ、
恩給裁定官廳ガ專斷ヲヤリハシナイカト云
フヤウナコトモ考ヘラレマスノデ、其ノ方
ノ懸念カラ之ヲ認メルコトガ出來ヌト云フ
ノモ、一ツノ理窟ハアルト思ヒマス、ダガ
非常ニ公平ニ非常ニ能クモノヲ見透シテ、ソ
レヲ運用シテ參レバ弊害モナク、而モサウ云
フヤウナ場合ヲ救ヒ得ルト云フヤウナコト
ニナルトハ存ジマスガ、遺憾ナガラ今直ニ
サウ云フヤウナ方法ヲ、實現シ得ルダラウ
ト云フ風ナ見透シモ付キマセヌ、ソコデ只
今アル方法ヲズツト通觀致シマシテ、何ガ
考ヘラレルカト云フコトデスガ、社會的ニ
色々ナ救ヒノ手ヲ以テ行クト云フコトハ、
當然考ヘラレルコトデアリマスガ、制度的
ニ何カ救ヒノ手ヲト云フコトヲ考ヘマシ
テ、アレヤ是ヤト現在存在シテ居ル制度ニ

付テ考ヘテ見マシテ、ドウモ遺憾ナガラ是
ナラバト思フヤウナ適切ナモノガ考ヘラレ
マセヌ、尙ホサウ云フヤウナ銃後ノ救済ニ
付テハ、厚生省方面ナドデモ相當心配モ致
シテ居ルヤウナ譯デアリマスカラ、今ノヤ
ウナ事例ニ對シマシテ、尙ホ厚生省ナドノ
方面ノ發動ヲ——是ハ十分ニ出來ルカドウ
カハ存ジマセヌケレドモ、若シ出來ルナラ
バサウ云フヤウナ發動ヲシテ貰フヤウニ私
等ノ方カラモ申傳ヘルコトニ致シタイト考
ヘテ居リマス、ソシテヤウナ譯デ甚ダ心許
ナイ答辯デゴザイマスケレドモ、現状トシ
テハ其ノ程度以上ニ申上ゲラレナイコト
ヲ、御諒承願ヒタイト思ヒマス

○塚本委員 斯ウ云フ事例ニ對シテモ既ニ
過去ニ於テ當局デハ御氣付ノ上、何等カノ處
置ヲ講ジョウト試ミラレ、腹案ヲ立テラレ
タコトアルヲ聞キマシタガ、唯其ノ事ガ實
現シテ居ラナイノヲ、甚ダ遺憾ト致シマス、
恩給法ノ改正ヲ俟タナケレバソレヲスルコ
トガ出來ナイノナラバ、今御答辯ノヤウナ
コトガ、此ノ際現實ノ問題トシテ起ツテ居
ルノデアリマスカラ、之ヲ何等カノ方法デ
實現スルヤウニ御助力ヲ願ヒ、現實社會ニ
サウ云フ人々ノアルコトヲ十分ニ御認識賜
リマシテ、之ニ溫キ救ヒト云フヨリ、寧ロ

國民ノ義務トシテ、當然ソレ等ノ弟妹ヲ成人サセナケレバナラスト思ヒマスカラ、十分ナル努力ヲシ、厚生省其ノ他關係アル各省トモ連絡ヲ取ラレマシテ、萬全ノ策ヲ講ゼラレンコトヲ切ニ御願申上げマス

○高橋委員長 ソレデハ以上ヲ以チマシテ
本案ニ對スル質疑ハ終了致シマシタ、直チニ討論ニ移リマス——齋藤君

○齋藤委員 私ハ民政黨ヲ代表シテ、本改正案ニ贊成致シマス、此ノ際簡單ニ希望トシテ申上げテ置キタイコトハ、各委員カラ申サレマシタ通り、一ツ此ノ恩給法ノ改正ヲ斷行シテ戴キタイ、其ノ改正ハ申スマデモナク財政ニ關係ノアルコトデアリマシテ、ソコニ惱ミガアルト思ヒマス、政府モ幾多改正シタイ點ハ御研究ニナツテ居ルト思ヒマス、又吾々モ恩給法ヲ改正シテ、廣ク恩給制度ノ普及ヲ致シタイノデアリマスケレドモ、奈何セン、所謂財源ノ點ニ至ルト容易ナラザルモノガアルト思フデアリマス、サリナガラ今回ノ日支事變ハ恩給法改正ノ絶好ノ機會デアリマス、若シ此ノ際改正ヲ躊躇シテ、凱旋シテ參ル所ノ幾多ノ將兵、又幾多ノ戦死者ノ遺族、其ノ他事變關係者ニ不滿ヲ與ヘルヤウナコトガアリマシタナラバ、是ハ將來國家ノ爲ニ由々シキ大事デ

アルト思ヒマス、ドウカ此ノ絶好ノ機會ヲ捉ヘラレマシテ、恩給法ノ全體ニ互ツテ、改正ノ案ヲオ作りニナリ、成ベク近キ機會ニ於テ議會ノ協賛ヲ求メラレンコトヲ切望致シマス

○中野委員 政友會ヲ代表シテ改正案ニ贊意ヲ表シマス、理由ハ只今齋藤君ガ御述べ

ミナリマシタト同様デアリマスカラ、是ハ省略致シマスガ、唯一ツ附加ヘテ希望申上げタイノハ、金額ニ於テモ莫大ナル額ニ上ツテ居リマスシ、恩給ヲ受ケル者ノ數ニ於テモ莫大ナル數ニナツテ居ルノデアリマスカラ、之ヲ取扱フ仕事ノ相當繁劇アルト云フコトハ想像セラレマス、各省ニハソレノ恩給ニ關係ヲ持ツ方ガ居ラレ、又各地方廳ニモオ居デニナリマス、其ノ仕事ハ要スルニ恩給法乃至恩給ニ關スル法規ヲ基準トシテヤルノデアリマスガ、只今ノ恩給法ナリ恩給關係ノ法規ヲ見テモ、中々其ノ解釋ハ難カシイノデアリマス、此ノ恩典ノ金ヲ載ク基本ニナツテ居ル法規ノ解釋ガ難カシウゴザイマシテ、意見ガソレノ起ルト云フヤウナコトハ、餘リ好マシクナイコトデアリマスカラ、將來之ヲ改正ニナル時ニハ、今少シ誰ニモ分ルヤウニ、立法技術ノ

上ニ一段ノ御努力ヲ拂ハレンコトヲ御願シテ贊成致シマス

○高橋委員長 山崎君

○山崎委員 現在ノ恩給法ノ缺陷ハ各委員カラ色々指摘セラレタト思ヒマス、時局ノ現狀ニ鑑ミマシテ、改革スベキハ改革スルト云フヤウナ工合ニ御進ミヲ願ヒマシテ、本案ニ贊成致シマス

○高橋委員長 塚本君

○塚本委員 私モ社會大衆黨ヲ代表シテ、今回政府ガ提案セラレマシタ恩給法ノ改正案ニ對シテハ、贊意ヲ表スル者デアリマスガ、齋藤委員カラモ近キ將來ニ出來ルダケ早く恩給法ノ根本的改正ヲシロト云フ要望ガアリマシタ、私モ同感デアリマシテ、其ノ點ニ付テ尙ホ少シ具體的ニ申上げテ置キタイト思ヒマス、要スルニソレハ先日ノ私ノ質問ニ依ツテ盡キテ居リマスガ、財政ノ方面カラシテハ、高額ノ受恩給者ニ付テハ、恩給ノ給與ヲ始メマス年齡ヲ——今日四十歳未滿ノ者ニ付テハ一部ノ停止ガアルガ、之ヲ五十歳或ハ五十五歳マデ引上げテ、一部ノ停止デハナク、高額ノ受恩給者ニ對シテハ、其ノ全額マデ停止ヲスルト云フ風ニシテハドウカ、更ニ又其ノ高額受恩給者ガ

一定以上ノ財産收入アル者、或ハ民間會社、諸團體等ニ就職シマシテ俸給ヲ受クル者等ニ對シマシテハ、是亦一定ノ條件ヲ設ケマシテ、恩給ノ一部又ハ全部ヲ停止スルト云フ方法ニ依ツテ、ソレヲ強化スル手段ヲ講ズルコトガ、一ツノ方法デハナイカト思ヒマス、サウ云フ風ニ致シマシテ、他面ニハ恩給法ニ浴シマスル者ノ範圍ヲ漸次擴張シテ行クト云フヤウニ、努メテ貫ヒタイノデアリマス、軍方面ニ於キマシテハ、今日ノ軍屬デアルトカ、或ハ各官省等ニ於キマスル雇員等ニマデモ、此ノ恩給法ノ適用ヲ及ボスト云フ風ニ改メルヤウニ進メテ戴キタイノデアリマス、更ニ私ノ質問ニ依リマシテ、是ハ恩給法トハ別個ニ考ヘルベキコトデアルト、御答ニナツタノデアリマスルガ、一般國民ニ對シマシテモ、何等カ是ト均衡ヲ保チ得ルヤウナ一ツノ制度、例ヘバ國民年金、養老年金デアルトカ云フ制度ヲ立テラレルコトガ、今日ノヤウナ總國力戰、總親和ノ必要ニ迫ラレテ居ル、而モ是ガ長期ニ互ルト云フコトヲ考ヘマスル時ニ、一層其ノ必要ヲ痛感スルノデアリマスカラ、此ノ點ニ對シマシテモ鋭意研究ヲ進メラレテ、其ノ實現ニ御協力セラレンコトヲ切望シテ、

賛成ヲ致ス次第デアリマス

○高橋委員長 採決致シマス、本案ハ原案
通り可決スルコトニ御異議ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○高橋委員長 御異議ガナケレバ本案ハ原
案通り可決スベキモノト決定致シマシタ、
本日ハ是ニテ散會致シマス

午後四時四十三分散會

昭和十四年三月十一日印刷

昭和十四年三月十二日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局